

中央家保便り

令和7年9月発行
沖縄県中央家畜保健衛生所
南城市大里字大里2085
TEL (098) 945-2297
FAX (098) 945-3467

中部地区及び南部地区畜産共進会が開催されました

★中部地区畜産共進会:令和7年9月19日(金)うるま市 石川ドーム

	優秀賞第1席	優秀賞第2席	優秀賞第3席
若雌 1類	うるま市 宜野座嗣敏 「みくり」	読谷村 玉城大樹 「りいか4」	うるま市 安慶名美由里 「ちゅらにゅう」
若雌 2類	うるま市 比屋根智和 「ふくみつ378」	うるま市 安次富尚 「いつまでも82」	読谷村 知花義信 「ゆりやす」
高等 登録 群	沖縄市 仲泊ゆきの 「こよしの5」「こよしのこのこ」	うるま市 阿波連陽一 「さきこ」「みさき」	

★中部地区雌子牛共進会:令和7年9月19日(金)うるま市 石川ドーム (中部地区畜産共進会と同時開催)

	優秀賞第1席	優秀賞第2席	優秀賞第3席
若雌 1類	読谷村 丸上東昇 「みつよちゅらゆり」	うるま市 安慶名米昭 「ふくみつ399」	うるま市 比屋根智和 「ゆりのこ」
若雌 2類	うるま市 安慶名美由里 「にゅうちゅら」	うるま市 安次富尚 「いつまでも88」	宜野湾市 与那覇守 「やまいも」

★南部地区畜産共進会:令和7年9月25日(木)糸満市 南部家畜市場

	優秀賞第1席	優秀賞第2席	優秀賞第3席
若雌 1類	南城市 城間皓司 「ひろゆり」	南城市 大城公也 「くにこ」	糸満市 照屋優作 「りょうこ」
若雌 2類	糸満市 山城義光 「りり」	豊見城市 藏根智利 「ふくひら2の1」	糸満市 照屋優作 「きたまる」
高等 登録 群	糸満市 前門真秀 「なつな」「なつなつ」	南部農林高校 「ゆきみ」「あだきん」	八重瀬町 新里悠太 「ひまわり」「こすもす」

第51回沖縄県畜産共進会(11月1日)に向けて、出品予定の皆様は、より一層の調教などの飼養管理に取り組んで、上位入賞を目指して頑張ってください！



気高系

さきてるしげ 幸紀照重



幸 紀 雄

たまよせ22

百合茂
はつかね

美津照重

さつま113

第20平茂
神高福
金徳
安平
美津照
美津福
美津福
安福165の9

勝忠平

生年月日 R2.1.11
 生産者 玉代勢牧場
 (生産地) (竹富町)
 審査得点 83.2点

幸紀照重の美点

発育、体伸、体深、
 体上線、資質、骨味、
 後躯幅、背腰幅

形質	R7.6月解析 推定育種価		R7.5月解析 ゲノム育種価	
	評価	推定育種価	評価	県有順位
枝肉重量	C	41.283	D	20
ロース芯	A	22.918	A	14
バラの厚さ	B	0.938	C	16
皮下脂肪	B	-0.534	A	9
歩留基準	A	3.573	H	9
脂肪交雑	H	3.258	H	4

R7.9.11現場後代検定成績が判明しました!!

* ~ 現場後代検定速報 ~ *

平均	頭数	産次	出荷 月齢	BMS	ロース	バラ	皮下	歩留	枝重
去勢	14	5.9	27.9	11.4	66.1	8.0	2.3	75.4	473.0
雌	6	5.2	31.4	10.7	63.8	7.4	3.1	73.9	472.2
全体	20	5.6	29.0	11.2	65.5	7.8	2.5	74.9	472.8

幸紀照重 現場後代検定結果

2代祖	3代祖	産次	出荷月齢	格付	BMS	ロース	バラ	皮下	歩留	枝重
秀幸福	美國桜	1	28.2	A-5	12	63	7.5	1.8	75.2	462.3
隆之国	安福久	6	28.6	A-5	12	65	8.5	2.2	75.2	508.5
諒太郎	福之国	4	28.3	A-5	12	78	9.4	2.6	76.9	524.2
美津照重	百合茂	6	28.3	A-5	12	62	7.3	2.2	74.6	458.0
北福波	第2平茂勝	7	27.9	A-5	12	54	7.6	2.9	73.6	420.8
勝群星	安福久	6	27.6	A-5	12	68	8.0	1.7	76.3	461.7
美國桜	勝忠平	5	27.3	A-5	12	77	9.2	2.2	77.8	460.8
美國桜	中部6	6	26.5	A-5	12	81	9.2	2.0	78.4	475.5
百合茂	平茂勝	9	29.0	A-5	12	61	7.0	1.2	75.8	407.5
安茂勝	安晴福	9	28.9	A-5	12	67	8.0	2.2	75.3	490.5
北福波	福栄	8	28.0	A-5	11	69	7.5	2.1	75.2	498.6
茂北福	景東	4	27.4	A-5	10	64	7.4	2.8	74.1	478.0
茂晴花	美津照重	3	26.9	A-5	10	60	8.2	2.2	74.4	505.8
北福波	美津福	9	28.4	A-5	8	57	7.5	3.6	72.7	469.9
去勢	平均	5.9	27.9		11.4	66.1	8.0	2.3	75.4	473.0

2代祖	3代祖	産次	出荷月齢	格付	BMS	ロース	バラ	皮下	歩留	枝重
福之姫	美國桜	1	30.4	A-5	12	89	7.7	3.0	76.8	526.3
安福久	平茂晴	2	29.9	A-5	12	64	5.8	1.7	75.0	401.4
安茂勝	神高福	11	32.2	A-5	12	70	8.1	3.4	74.4	509.6
華春福	喜亀忠	3	32.0	A-5	12	61	8.4	3.1	74.0	495.9
美穂国	忠富士	8	31.8	A-5	12	60	7.8	3.3	73.8	453.8
北福波	平茂勝	7	32.1	B-3	4	39	6.4	4.3	69.3	446.0
雌	平均	5.3	31.4		10.7	63.8	7.4	3.1	73.9	472.2

幸紀照重産子の体型

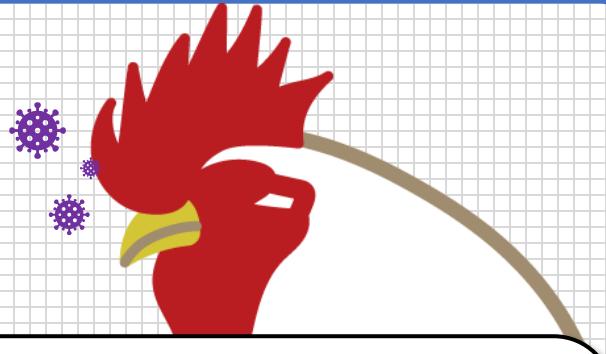
美点: 体上線、体伸、体深、中躯幅、肋張り、骨味、均称、皮膚のゆとり、斉一性

惜点: やや前躯幅、顔品、やや体幅、下腿幅

美百合母体に
おすすめ☆彌

対策のポイント

高病原性 鳥インフルエンザ



- 渡り鳥の飛来により、今シーズンも高病原性鳥インフルエンザウイルスが我が国に侵入するリスクは極めて高い状況です。
- 本病の発生を予防するため、地域におけるリスク低減対策を推進し、いま一度、農場におけるウイルス侵入防止対策を強化しましょう。

農場における発生予防対策

農場へのウイルス侵入防止対策の強化

飼養衛生管理の基本的な管理項目を毎月点検し、不備があれば改善。

人、物、車両の入出時対策

- ・衛生管理区域専用の衣服や靴の使用。
- ・着用前後で交差のない動線、明確な境界を確保。
- ・適切な車両消毒、手指消毒の実施。
- ・家きん舎ごとの専用の靴の使用。

野生動物の侵入防止、誘引防止

- ・畜舎の壁、防鳥ネット等の破損修繕。
 - 特にネコ、イタチ、カラス等の侵入を防止
- ・ねずみ及び害虫の駆除
- ・鶏卵・鶏糞の搬出口に覆いを設置。
- ・餌置場の清掃、死体や廃棄卵の適切な処理など誘引を防止。

重点対策期間

渡り鳥の飛来が本格化する前の9月中には防疫体制を整備。

10月から翌年5月までは警戒を強化。

特に11月から翌年1月までは重点対策期間。

健康観察と異状の早期発見

家きん所有者は毎日の健康観察を入念に行い、異状を認めた場合は速やかに管轄の家畜保健衛生所に届け出。



近年の発生地域ではリスクが高いことを認識し、特に重点的に対策を徹底。

家畜保健衛生所、産業動物獣医師など第三者の視点も活用して対策を向上させましょう。



農林水産省HP
「鳥インフルエンザに関する情報」↓





一斉点検の要チェックポイント（家きん）

①衛生管理区域に病原体を持ち込まない！

- 手指の洗浄・消毒をしていますか？
- 車両の消毒をしていますか？
- 専用の衣服や靴の確実な着用がでていますか？

✗ 境界に更衣や消毒の設備がない



○ 車両の消毒、専用の衣服や靴の着用



タイヤの溝やタイヤハウスもしっかりと！

②家きん舎に病原体を持ち込まない！

- 手指の洗浄・消毒をしていますか？
- 専用の靴の確実な着用がでていますか？

✗ 専用の長靴が用意されておらず、出入り時の動線も不明瞭



○ 専用の長靴の着用、すのこ等を用いた靴の履き替え時の動線の交差防止



③野生動物を近づけない！侵入させない！

- 防鳥ネット等は家きん舎のみでなく、堆肥舎等にも設置していますか？
- 破損箇所や開口部の隙間は速やかに補修していますか？
- ネズミや害虫の駆除は定期的にしていますか？

✗ 壁や金網に破損があり、補修されていない



補修はしっかりと！

屋根裏内部やモニター開口部
も破損がないか要確認！

○ 集卵ベルトの開口部や堆肥舎も隙間がないように対策している



野鳥が多い地域
は特に注意！



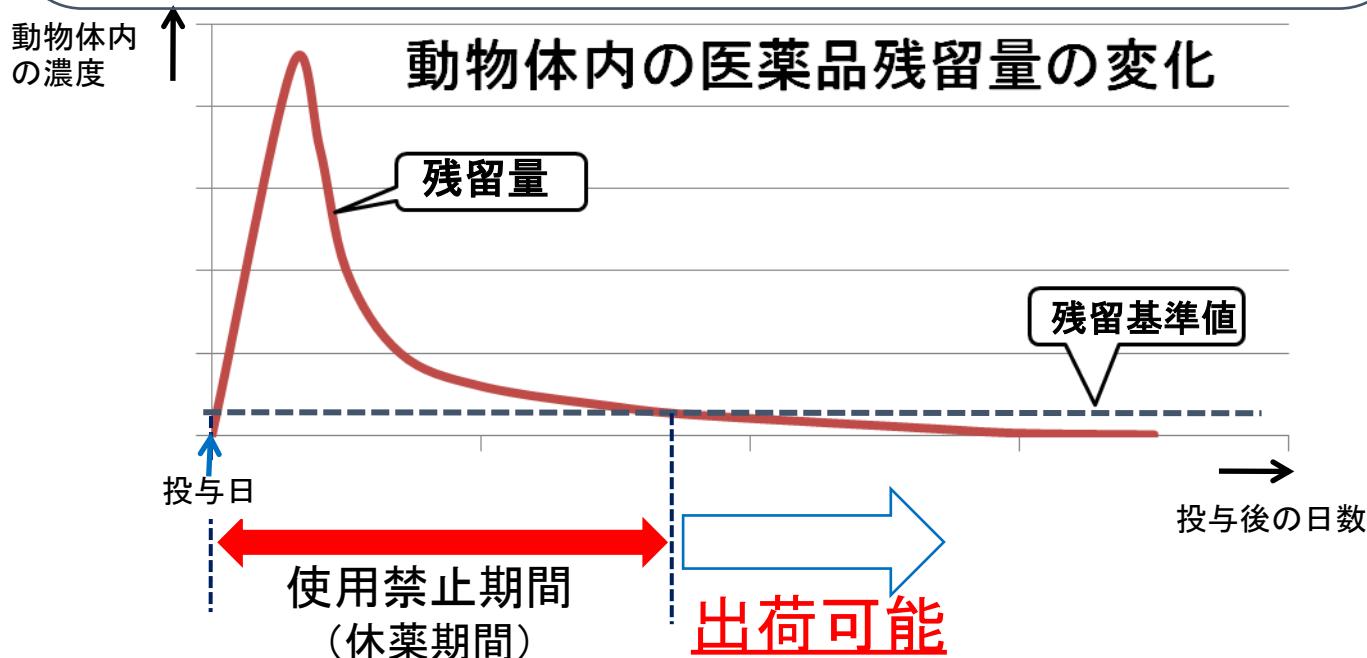
鶏舎全体を防鳥ネット
で覆った事例

抗菌剤・駆虫薬は 使用基準を守り、正しく使いましょう

抗菌剤、駆虫薬などは、使い方、使用量、使用禁止期間(休薬期間)などの使用基準を守って使用しなければいけません。

使用基準を守らないと…

出荷した乳・肉・卵・蜂蜜に医薬品が残留基準値を超えて残留した場合、回収や廃棄の対象となります。

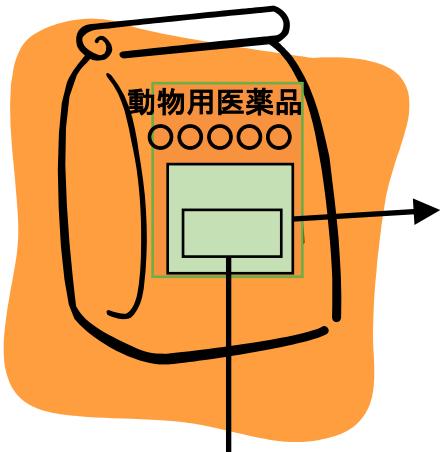


使用基準を守って使用すれば、食べても問題のない畜産物として出荷できます。

使用禁止期間や投与方法を守らなかった事例（損害は農家負担）

- 出荷前の豚に抗菌剤の入った子豚用飼料を誤って投与したため、豚肉にドキシサイクリンが残留（87頭分の枝肉等を回収）。
- 牛に抗菌剤を飼料添加で投与すべきところを飲水投与し、休薬期間を1日短く出荷したため牛肉にスルファモノメトキシンが残留（124kg回収）。
- 採卵鶏に使用できない抗菌剤を投与し、卵にトリメトプリムが残留（自主回収も含め約101万個回収）。当該農家は廃業。
- 腐蛆病予防薬を専用飼料ではなく、自家調製飼料に添加したため、飼料が巣箱内に粘着。洗浄で除去しきれず、はちみつにミロサマイシンが残留（3t回収）。

使用基準の確認と使用の記録



使用基準は、囲み枠に記載
(裏面に記載の場合もあり)

＜表示例＞

動物用医薬品 ○○○○○(商品名)
効能・効果
豚：豚回虫の駆除

用法・用量

**飼料1t当たり〇gを均一
に混合し、〇日間経口投与
する。**

注意—使用基準の定めるところにより使用すること

注意：本剤は医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第83条の4の規定に基づき上記の用法及び用量を含めて使用者が遵守すべき基準が定められた医薬品ですので、使用対象動物（豚）について上記の用法及び用量並びに次の使用禁止期間を遵守してください。

豚：食用に供するためにと殺する前〇日間

対象動物

使用禁止期間(休薬期間)

- 医薬品を使用したら、使用記録を付けて保管しましょう。
①使用年月日、②使用場所、③対象動物、④薬品名、⑤用法・用量、⑥出荷可能日
医薬品の使用に問題がないことの証拠になります。
- 獣医師の発行した動物用医薬品指示書や出荷制限期間指示書がある場合は、使用記録と一緒に保管しましょう。

未承認動物用医薬品（個人製造や輸入）の使用は、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律で禁止されています。また畜産物に残留した場合、回収・廃棄の対象となり、人で健康被害が発生した場合は、使用者の責任となります。

お問合せは 中央家畜保健衛生所 まで

牛、めん羊及び山羊由来の原料を使用した**肥料**の

BSEに係る規制を見直しました（令和7年9月）

牛、めん羊及び山羊（以下、牛等という。）の肉や骨などを含む肥料は、BSEの発生を予防するため、摂取防止材等の混合またはBSEの発生予防に効果がある原料加工等の管理措置を義務付けてきました。

今般、このような肥料が、牛用飼料等へ流用・誤用される可能性が極めて低いという状況等を踏まえ、これらの管理措置を原則不要としました。

これまで



特定危険部位
の除去



摂取防止措置
(とうがらし粉末の混合等)
OR
原料加工措置
(灰化等)



規制見直し後



特定危険部位
の除去



措置不要



* 特定危険部位は引き続き除去されるため、今後も肥料として利用されません。

畜産関係の皆様へのお願い

牛等由来たん白質を使用した肥料を牛等が誤って摂食しないよう、引き続き、家畜等の口に入らないところで保管・使用してください。また、牧草地等に施用しないでください。



牧草地等に肥料を施用する際は以下をご確認ください

牛等由來たん白質を使用した肥料には、必ず、その包装等に右図のような注意事項の表示がされています。牧草地等に肥料を施用する際は、このような表示がないか、よくご確認ください。

この肥料には、牛等由來たん白質が入っていますから、家畜等の口に入らないところで保管・使用し、家畜等に与えたり、牧草地等に施用したりしないで下さい。

注意：飼料安全法で、牛等に肉骨粉などの牛等由來たん白質（乳を除く）を与えることはできません。

肥料規制の見直しに係る
お問合せ先

農林水産省 消費・安全局 農産安全管理課
03-3502-5968（直通）

牧草地等への肥料の施用に関する調査のお願い

回答日：令和 年 月 日

牛等由来たん白質を使用した肥料（牛等の肉や骨などを含む肥料）が、牧草地等へ施用されていないこと等を踏まえ、チラシのとおり規制を見直しました。

見直し後も、引き続き、牛等由来たん白質を使用した肥料を牧草地等へ施用しないようお願いしています。

これを踏まえ、改めて、お使いの肥料が、牛等由来たん白質を使用していない肥料であることの確認をお願いしています。

確認されましたら、右の QR コードから回答フォームにアクセスしご回答いただくな、本用紙に記入の上、管轄の家畜保健衛生所へご提出いただけますようお願いいたします。



※ ご記入いただいた回答及び回答者情報は、牧草地等への肥料の施用状況の把握のみに使用し、第三者に提供することや公表することはありません。

◆ 回答者情報

法人名または氏名：

都道府県：

◆ 牧草地等への肥料の施用状況

- 牧草管理のため、購入した肥料を牧草地等に施用していますか？

はい いいえ（「いいえ」の場合はここで終了です。）

- 牧草地等に施用しているのは、牛等由来たん白質が入っていない肥料ですか。

入っていない肥料 入っている肥料

- ※ 牛等由来たん白質が入っている肥料には、右のような注意表示がされています。
- ※ 家畜ふん堆肥は、牛等由来たん白質が入っている肥料ではありません。

この肥料には、牛等由来たん白質が入っていますから、家畜等の口に入らないところで保管・使用し、家畜等に与えたり、牧草地等に施用したりしないで下さい。

ご協力ありがとうございました。

【問い合わせ先】農林水産省消費・安全局農産安全管理課 肥料企画班・肥料検査指導班

TEL : 03-3502-5968 Email : hiryo_info@maff.go.jp